母校　元小

学　校　だ　よ　り
令和４年１２月
川口市立元郷小学校
児童数：５０１名

何事かを為さんがために ～親愛なる「孤高の天才」に捧ぐ～

校長　吉田　栄

冬至を目前に控え、寒気より一層厳しき折、街路樹もすっかり葉を落とす今日この頃です。冬晴れの日、陽だまりは殊の外心地よく、この季節の楽しみの一つとなっています。１２月「師走」。本格的な冬の到来です。そして、長かった２学期も最終月となり、学校ではいよいよ今学期のまとめの時期を迎えました。

この元郷小学校に校長として着任し、早４年が過ぎようとしています。この４年間、本当にあっという間に過ぎ去ってしまったというのが正直な感想です。振り返れば、いつも保護者の皆様、地域の皆様に支えていただいていたことを改めて実感しています。こうして年の瀬を迎えた今、保護者の皆様、地域の皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。日頃からの学校教育へ多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

児童のために為すべきことは何か…。やり残したことはないか…。毎年この時期、考えずにはいられないことです。

「私は少しも恐れるところがない。私はこの世界に、何事かを為さんがために生まれてきたのだ」…これは、医師であり日本を代表する細菌学者である　野口英世　の言葉です。現在の千円札のモチーフとされている野口英世は、１８７６年（明治９年）、福島県に生まれました。当時の農民の生活は貧困を極め、彼の家庭もその例外ではありませんでした。彼が１歳の時、悲劇が起こります。囲炉裏の中に転げ落ちてしまったのです。幸い一命は取り留めたものの、幼い左手は焼けただれ、その後の不自由な生活を余儀なくされることとなりました。少年時代の野口英世は、希望を失い、意気消沈する日も多かったと言われています。母シカは、自分の子供に一生残るであろう大きなけがを負わせてしまったという自責の念に駆られながらも、そんな彼を学校に通わせ、貧しい生活の中でも勉学に専念させたのです。母親としての強さ、母親の偉大さを痛感する出来事です。苦学の甲斐あって、難関であった医術開業試験に合格。活躍の舞台を世界に移した後、蛇毒や梅毒、黄熱病等様々な研究に没頭し、大きな成果を収めました。ノーベル生理学・医学賞の候補に三度も名前が挙げられるなど、その功績は高く評価されました。

野口英世にとっての「為すべき何事か」とは、研究に打ち込み、様々な病気の原因を突き止め、病気に苦しむ世界中の人の命を救うことであったに違いありません。自分がこの世に生まれてきたことの意義や理由を強く認識し、信念をもって自身の意志を貫く彼の姿には、ひとつの迷いもなかったのではないでしょうか。その結果、野口英世は「為すべきこと」を見事に為し遂げたのは言うまでもありません。野口英世の為し遂げようとする強い意志、高き志を感じざるを得ません。

「何かを始めることはやさしいが、それを継続することは難しい。成功させることはなお難しい」…この言葉は、日本の教育者であり、女子英學塾（後の津田塾大学）創立者である　津田梅子　の言葉です。津田梅子は、現代の日本における女子教育の先駆者と評価されています。この言葉からは、志を貫くことの難しさを感じます。一方で、実現の難しささえ「為すべきこと」を為すためと思えば、為し遂げるための原動力になると考えます。

元郷小に通う一人一人の児童にも、将来、もしかしたらもっと近い未来に自覚するであろう「為すべき何事か」が必ずあるはずです。元郷小の卒業生たちにも、私たち教職員にも、さらにはこの時代の大人たち全てにも。そして勿論、今、この文章を書いている私自身にも…。この世に生を享け、ありがたきご縁の下、こうして元郷小学校にまいりました。私はこの元郷小学校で、私自身の「為すべきこと」を為すことができたのだろうか…。今、私の耳には、時を刻む針の音が、大きく、そしてはっきりと聞こえてきます。元郷小の児童とともに過ごすたいへん貴重な、そして限りある時間の中、あの日の若き野口英世のように、私自身の「為すべき何事か」を考えずにはいられません。

12月の予定

日	曜日	
		生活目標：無言清掃をし、学校をきれいに使おう
		保健目標：寒さに負けずに外で元気に遊ぼう
1	木	(12ひ)読み聞かせ/(2)町探検/委員会
2	金	通学班班長会議/(16ひ)授業参観・懇談会
3	土	
4	日	
5	月	B日課/人権週間・いじめゼロ活動（～9日まで） 赤い羽共同募金
6	火	(135)臨時歯科健診/(45)授業参観・懇談会 (4)オンライン社会科見学/赤い羽共同募金
7	水	講話朝会/(23)授業参観・懇談会/代表委員会
8	木	(123ひ)読み聞かせ/クラブ
9	金	B日課
10	土	
11	日	
12	月	B日課
13	火	B日課/(5)地区陸上大会
14	木	B日課/第3回PTA企画運営委員会/教育相談日
15	木	(全)読み聞かせ/(246ひ)臨時歯科健診/(5)地区陸上大会予備日/(456)クラブなし6時間授業
16	金	コンソーシアム
17	土	
18	日	
19	月	B日課
20	火	たてわり遊び
21	水	児童集会/給食最終日
22	木	通常3時間授業/大掃除
23	金	第2学期終業式/通常3時間授業
24	土	冬季休業日（～1/7まで）
25	日	第3学期始業式・・・1月10日（火）
26	月	
27	火	
28	水	いじめ相談件数 11月のいじめに関する相談件数は、3件でした。
29	木	
30	金	
31	土	

成績処理期間として、9日（金）～14日（水）の4日間を、B日課とします。ご理解の程よろしくお願い致します。

Teacher's column

「読書月間の取組が行われました。」

図書主任　佐藤　稔彦

10月3日から本校では「秋の読書月間」を行いました。全ての児童が本に親しむことができるように、期間中には3つの取組を行いました。

(1)読書の取り組み

昼の放送で、読書月間中に貸し出し冊数が多いクラスをランキング形式（トップ5）で紹介しました。普段はあまり貸し出しに来ない児童も借りる姿が見られました。読書月間終了後には、1～5位の学級には、図書委員会から賞状が渡されました。また、貸し出し冊数が多い児童上位10名には、特別賞として「読書王」の賞状が渡されました。

(2)「図書委員おすすめの本」掲示

図書委員が児童向けにお薦めの本を紹介するポスターをかきました。期間中、校内に掲示されており、中には「図書委員おすすめの本を読んだら面白くて続編を自分で買っちゃった。」という児童の声もありました。

(3)昼の放送での読み聞かせ

図書委員と学校図書館司書が給食時間に読み聞かせを行いました。図書委員は物語のおもしろさを放送でも伝えられるように感情をこめて読んでいました。

学校図書館には、3つの機能があります。「読書センター」、「学習センター」および「情報センター」の3つです。この中の読書センター機能を実現するために、読書活動の拠点となるような環境整備、読書活動の推進および読む力の育成のための取組を進めています。今後も、学校図書館司書、教職員や図書ボランティアの方々、地域の方々、ご家庭の力を合わせていけるように取り組んでまいります。今後ともご協力をお願いいたします。

チャレンジテスト

１２月には国語と算数の２学期のまとめのテストがあります。満点を取れるように復習をしっかりとしましょう。

♫♫♫ お琴、ありがとうございました ♪♪♪

地域の前民生児童委員の田辺叶子様、ご息女の常松真紀様から、お琴を寄贈していただきました。厚く感謝申し上げます。